

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2025年8月1日 263号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

文信出様・智嶋様、文信興様 を日陽園にお迎えして



【日陽園岩澤春比古園長の報告】

2025年5月19日(月)文信出様とご夫人の智嶋様、文信興様が、世界巡回路程の中、パラグアイ、日陽園に初めて来られた。日帰りではあるが、神様の愛と祝福を十二分に感じる事ができる大変素晴らしい、印象的なご訪問となった。信出様と信興様は提唱者文総裁夫妻のお孫様で「天愛祝承子」と呼ばれる。

1. お迎えする準備

4月25日、FFWPUの金東佑氏から5月20日に文総裁のお孫様一行10人が日陽園に来られるという連絡



快晴のレダに到着されたご一行を出迎える岩澤園長。

を受けた。この日はちょうど私が目本への一時帰国を終え、妻と共に羽田からパラグアイへ出発しようとした日で、とにかく早く日陽園に帰らなければならぬと思った。今年3月中旬から約1か月間、日陽園の周辺で大雨が降り続き、町と村々が洪水で陸路が完全に遮断されていたからである。

またレダにある船、グッド・ゴーとアルミボート全ての調子が悪く、それゆえ水路も使えない状態となっていた。私はアスンシオンに着いてすぐ、アクアムンド社の佐藤ジョンさんに連絡をとり、16フィートのボート1隻をしばらく貸してもらったことにした。5月に入り、南米4か国にお孫様一行をお迎えするにあたり、それら各国の代表者で、NOOBによる会議が3回持たれた。日陽園に関して一泊するという話も出たが、不安定な天候を考慮し、5月19日アスンシオンから小型のチャーター機2機を使い日帰りで訪問することが決まった。

2. 5月19日、日陽園到着

日陽園訪問日は19日と決まっていたが、18日夜8時過ぎになって、その夜から明け方まで日陽園で大雨が降るとの気象予報が開始、パイロットの判断で訪問は20日に延期された。



水一荘(レダ公館)訓誦会室で祈りを捧げる文信出様・智嶋様、文信興様ご一行。

しかし19日の早朝、日陽園では少しにわか雨が降っただけでその滑走路への影響がほとんどなかった事を確認し、それらの事を金氏に報告した。その報告を聞き、パイロットも19日飛べると判断した。

急な変更により飛行機の出発が少し遅れたが、9時40分にアスンシオンを飛び立つことができた。早朝、日陽園の空は雲に覆われていたが、次第に晴れ始め、お孫様一行が着かれる頃は快晴となった。神様がご一行

と私たちと共にいらっしやる事を実感した。2時間の飛行の後、11時40分に2機の飛行機がレダに到着した。

3. 日陽園滞在

日陽園に着かれると、提唱者文総裁夫妻が「水一荘」と名付けられた公館の前で先ず全体写真を撮った。秋の澄み切った空の下、太陽の光が燦爛と降り注ぐ中、水一荘を背景にして文信出様ご夫妻、文信興様を中心に写真を撮ったが、皆の笑顔が大変眩しかった。

その後お孫様達は日陽園で歩むメンバー一人一人、家庭一家庭と一緒に写真を撮ってくださった。まさにお孫様達が天の愛と祝福をもたらしてくださり、貴重な時間となった。それから水一荘を訪れ、2000年11月30日の開所式で提唱者文夫妻が御言葉が語られた訓誦会室で祈りを捧げられた。

次に国際修練所に移動し、日陽園で養殖をしているパクーの料理を中心とした昼食となった。とりわけパクーの刺身が人気で、信興様は何度か刺身を取られ、コチュジャンに漬けて美味しく召し上がられていた。

午後は「TPs' Vision and Leda Project History」と題して、私が1時間のプレゼンテーションを行った。旅の疲れはあったと思われるが、お孫様達は提唱者夫妻の南米プロジェクトのビジョンと日陽園開発の歴史を熱心に聴いてくださった。(次面へ続く)



●農業・林業体験で汗を流すチャパボラたち。7月5日



●土壌改良がなされ、美味しい白菜が育つ第一農場にチャパボラが学ぶ。



●4月、5月、6月生まれのメンバーの誕生日会。6月30日



●天井扇の補修をする新谷氏。7月14日



●植樹園のモモタマナ。アスンシオンでは街路樹。



●マタコミツオビアルマジロ



●豚にトウモロコシをやるチャパボラ青年の手。



信出様・信興様（一面よりつづく）
 特に何も無い見捨てられた所から、建設の経験もない高齢者達が、気温40度超の暑さと蚊の大群、水道もエアコンもない厳しい環境の中で、天に対する絶対的な信仰と愛と孝情の心をもって今の日陽園を造ってきたことに大変感動されていた。そして5年前から多くの日本の未来世代が日陽園で教育を受け、そのうち何名かが日陽園で家庭を出発し、初代開拓者たちに代わって福地開発に責任を持ち始めていくという証を聴き、後継者作りの大切さの話を、「そうですね。そうですね。」というふうに何度も頷いていらっしやうのが大変印象的だった。

その後、日陽園プロジェクトの中でも一番力を入れているパークの養殖の現場を見て回られた。提唱者ご夫妻が南米におられた時、ご自身でやりたかったというパークの養殖の説明を、二世の水産責任者から熱心に聞かれた。
 そして最後に提唱者ご夫妻が復帰の条件をかけて、パラグアイ川でよくされていた釣りに挑戦された。あいにく風が強くなり、水草が多く、釣果はゼロであったが、提唱者の釣りの精誠を偲ぶ貴重なひと時を過ごすことが出来た。
 午後4時となり、別れを惜しみながら、ご一行は再び小型飛行機に乗り、日陽園を飛び去った。

今回、信出様と信興様を日陽園にお迎えし、直接色々話す機会に恵まれたが、一番の印象は、韓総裁から直接愛を受けられ、その御心情を深く理解され、全ての中心が韓総裁であるということだった。二つ目は韓総裁と完全に一つとなられたお孫様達はこれからの摂理において大きな責任を持つていかれるということ。私達はこのお二人を全力でお支えし、一つになって天の計画を発展させていくことを誓うものである。

2025年5月26日
 日陽園 岩澤春比古

レダの電気屋さん
第25回



今回のチャパボラのメンバーの中ですら、電気工事士の資格を持った方が来られました。初めてレダを体験するということが半年間のチャパボラ活動の予定で、長期滞在も視野に入っておられるとのことですが、本当に、嬉しい限りです。

弱電畑の私としては、苦手な屋外周りのメンテナンスをさせていただけることはとても力強いです。名前は新谷(しんたに)さんです。

今回、チャパボラの水産プロジェクト体験中に、早速パークー養殖池の電気配線の補修をさせていただきました。ここは以前、ヤシの木の電柱

を固定していたワイヤーをトラックが引っかけて、電柱が折れてしまっていたところですが、新谷さんが配線の方を立て直してもらったのですが、新谷さんが配線をしてくれました。

ここは、隣の電柱までの距離が40メートルほどもあり、電線を手で引つ張っても、とても張れる長さではありませんが、そこに秘密兵器の工具を持ち出して難なく仕上げてくれました。

あと、従業員宿舎の天井の修理も手伝ってくれました。水つくりにも付き合ってくれています。新谷さんがいてくれると、安心してレダの電気屋さんを任せられます。(山崎茂章)



高所作業中の新谷さん。7月2日

▼7月16日、川久保安史、晋英さん家庭に第一子が誕生しました。男の子です。❤

紙面版が送られて来る場合

- 紙面版を希望しているのに紙面版が送られてこない場合
- 動画版のみ希望しているのに紙面版が送られて来る場合

▼南米に新しい風が吹いている。レダはその風の発生地の一つ。その風は天運を乗せてレダに還流している。園長の報告から思いました。▼レダで福地建設に大きな貢献をなされた上山先生。釣りの王者でもあった上山先生。ご冥福をお祈りいたします。

パンタナール通信は、本年(2025年)より紙面版に代えて、動画版、PDF版への移行を進めています。情報発信力をいっそう高めながら、発送費を削減することで他の活動の強化を図ることがねらいです。引き続き紙面版を希望している方には、紙面版もお送りしています。

以下のような場合はお手数ですが、下記の事務局まで連絡をお願いいたします。

一般社団法人
南北米福地開発協会 事務局

〒182-0021
東京都調布市調布ヶ丘
2-15-1 ビリアベルデ 407
電話: 042-449-0183

支援金振込口座: ゆうちょ銀行
記号10280 番号61349751
一般社団法人 南北米福地開発協会

e-メール: office@asd-nsa.com
ホームページ: https://asd-nsa.com

パンフレット: 当会の紹介と入会申込書
https://asd-nsa.com/sk/

パンタナール通信
ブログ版 (Blog)



パンタナール通信は、これまで紙面版とPDF版を発行してきましたが、新しくブログ版(動画を含む)ができました。



英語 English 日本語 Japanese

感想をお寄せください
https://asd-nsa.com/kf/



本紙記事へのご感想、ご意見、ご提案などを送りください。ご感想は本紙に掲載させていただくことがあります。

LINE公式アカウント

レダの日常・日本の非日常

レダ現地の様子、プログラム・イベント告知・参加者募集案内などを配信します。



友だち追加はこちらから!

検索 渡りをする蝶

検索してまずヒットするのは、オオカバマダラとアサギマダラでしょう。アメリカ合衆国の国蝶オオカバマダラは日本にはいませんが、アサギマダラは日本でもよく見られます。体重数十グラムの蝶が、どうして何千キロもの旅ができるのか、はるか遠い地に正しく至れるのか、いかに海を越えるのか、不思議なことだらけです。

帝王蝶とも呼ばれるオオカバマダラですが、南米に棲む女王蝶(ジョウマダラ)は、やや短めの渡りをします。



帝王蝶とも呼ばれるオオカバマダラですが、南米に棲む女王蝶(ジョウマダラ)は、やや短めの渡りをします。

Instagram アカウント

PeZPeranza
Producto de LEDA

育てたのは大自然、届けるのは本物の味